

OSカラーSK-FF

高耐候性1液水系フッ素樹脂塗料

①

はじめに OSカラーSK-FFは、建築物の内外装保護仕上げに最適な常温乾燥形水性フッ素塗料です。

超耐候性、超低汚染性、防藻防カビ性、透湿性、遮熱性のある耐久性に優れた塗膜を形成します。

②

特長

1. 環境にやさしい無公害の常温乾燥形水性フッ素塗料です。
2. 酸性雨や紫外線等による外的劣化因子に対する耐候性がよく、塗膜劣化を抑えます。
3. 低汚染性、防藻防カビ性、耐候性に優れています。
4. 透湿性に優れ塗膜が湿気を放湿し、結露を防ぎます。
5. 密着性に優れコンクリート、モルタルなどの各種基材に塗布できます。
6. 熱を効率的に反射させ躯体の蓄熱を減らすことで、内部に伝わる熱量を抑えられます。

③

用途

1. コンクリート構造物の表面保護仕上げ
2. セメンテックスRB工法の表面仕上げ
3. 建築物の内外装仕上げ

④

荷姿 15kg/内面コート缶
※標準色N-75 (グレー)

⑤

施工仕様

下塗り	0.15kg/m ²
上塗り	0.15kg/m ²
希釈	清水 0.4~0.8 kg/缶
施工可能面積	50m ² /缶

⑥

使用工具 ウールローラー、刷毛、吹付け塗装機

オバナヤ・セメンテックス株式会社

東京：〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-6 香取ビル TEL:03-3663-7641/FAX:03-3661-0496

名古屋：〒467-0067 名古屋市瑞穂区石田町1丁目48番地 TEL:052-851-9361/FAX:052-851-9450

大阪：〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-26 天神第一ビル TEL:06-6305-0371/FAX:06-6305-0372

7

塗膜性能

試験項目	試験結果	試験方法
外 観	異常なし	JIS K 5660-2003
耐アルカリ性	異常なし	JIS K 5660-2003
耐 候 性	異常なし	JIS K 5660-2003
低温安定性(-5℃)	異常なし	JIS K 5660-2003
耐水性	異常なし	JIS K 5660-2003
耐洗浄性	異常なし	JIS K 5660-2003
耐湿潤冷熱繰り返し性	異常なし	JIS K 5660-2003
表面乾燥性	常温状態1時間	JIS K 5660-2003
	低温状態3時間	JIS K 5660-2003

8

【施工上の注意事項】

- ①付着の阻害となる塗装下地の錆・苔・油分・埃・レイタンス・脆弱塗膜などは除去してください。
- ②下地がコンクリート・モルタルの場合、乾燥を十分に行ない含水率10%以下、pH10以下で施工してください。
- ③プライマー材として「ファインコートP」、「OSプライマーERS」の使用を推奨します。また、施工に先立ち試験塗りをを行い、既存塗膜のリフティング・弾き・剥がれなどの異常がない事を確認してください。
- ④塗料は均一にハンドミキサーなどで十分にかき混ぜてから使用してください。
- ⑤材料の希釈量は所定の量により、所定の所要量を守り事前の試験塗りなどで決定してください。希釈過多、不足はダレや隠れ不足、仕上がりのムラの原因になります。
- ⑥希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
- ⑦2回塗りを標準とし、色むら、だれ、光沢むらのないよう均一に塗布して下さい。被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また塗継ぎ箇所でも起こる場合があります。
- ⑧塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、（高湿度・結露・降雨等）塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、または結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性が高い場合は、施工を行わないでください。
- ⑨各種施工仕様に記載の使用量、および乾燥時間等を守って適正な塗布量を確保してください。
- ⑩外部の施工で、強風下や降雨、降雪が予想される場合は施工を行わないでください。
- ⑪施工時は換気を十分に行ってください。
- ⑫施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- ⑬適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどをご使用ください。
- ⑭目に入った場合は、水で良く洗い流した後、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ⑮誤って飲み込んだ場合には、速やかに医師の診断を受けてください。
- ⑯取扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。

【貯蔵・保管・廃棄上の注意】

- ①子供の手の届かない所に保管してください。
- ②保管する際は、無機尺の状態でも密閉されていることを確認し、直射日光を避け、雨掛りのない乾燥した場所に保管して下さい。また0℃以下での保管はしないでください。
- ③他の物と混同しないように、一定の場所を決めて貯蔵してください。
- ④廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。

※本製品の安全取り扱い上の詳しい注意事項が必要なときは、安全データシート(SDS)をお読みください。

※製品改良のため予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承下さい。